

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	平成18年7月豪雨災害10年伝承事業
事業主体 (連絡先)	岡谷市 岡谷市幸町8番1号 TEL0266-23-4811
事業区分	4 安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,381,952円 (うち支援金:1,071,000円)

事業内容

【シンポジウム】

平成18年7月豪雨災害から10年の節目にあたり、災害を振り返り、災害の経験から得られた教訓と知識の継承を確認するとともに、住民一人ひとりが、今後起こり得る災害にどう備えるかを考える機会として、シンポジウムをメインに多くの事業を展開した。

期 日：平成28年7月9日(土)

会 場：カノラホール大ホール

参加者：約1,000人

内 容：第1部 振り返る

第2部 基調講演

第3部 パネルディスカッション



【シンポジウムの様子】

【目標・ねらい】

- ①住民の防災・減災意識の高揚
- ②地域防災の充実強化
- ③防災関係機関の連携確認

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①シンポジウムにおける約1,000人の参加者をはじめ、関係する事業に延べ約7,500人に及ぶ住民の参加などの関わりが持たれ、防災・減災に対して改めて考える機会となった。
- ②各区の自主防災組織を中心に、地域からの意見及び事業への参加をいただいた。地域の結束力、力強さが見受けられた。
- ③多くの防災関係機関及び協定締結機関との連携協力図り事業の完遂に至ることができ、相互の関わり合いの必要性を確認した。

※自己評価【 B 】

【理由】

多くの住民や関係機関に事業に携わっていただき、豪雨災害から10年の節目に、改めて防災・減災について考えられたこと。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

豪雨災害の経験から得た教訓と知識を継承するため、本年度実施した関連事業及び毎年実施する防災訓練等の防災・減災対策に関連する事業を継続実施し、10年にとどまらない、より一層の防災・減災意識啓発に取り組んでまいりたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある